

ウエスギエンブシステム

代表者 上杉 忠久

住 所 秋田県南秋田郡五城目町字七倉20-2

連絡先 TEL 018-852-5450

FAX 018-852-5451

Eメール u-enbu.c@olive.plala.or.jp

資 本 金 1,000万円

創業年月 平成6年6月

従 業 員 4人



最先端刺繍機の導入による高品質かつスピード納期対応で、ユニフォーム市場での受注を拡大

当社は南秋田郡五城目町で刺繍加工業を営んでいます。元々は大手アパレル、スポーツメーカー等からの2次加工依頼を主力にしていたのですが、メーカー工場の海外移転等にもとない、現在は企業ロゴやネーム刺繍といった3次加工をメインに対応しています。少人数ながら、高い技術力とスピード対応で、大学病院等の白衣、消防・警察・市役所など官公庁関係のユニフォームへの刺繍のほか、個人客からの依頼にも対応しています。今回は受注が伸びているユニフォーム市場でのより高品質かつスピード納期を実現するため、補助事業を活用させていただきました。

Question

Q 御社の強みを教えてください。

A パンチングも自社で行えるため、朝来た画像のサンプルを翌朝には出荷しています。スピード対応で他社との差別化を図っています。

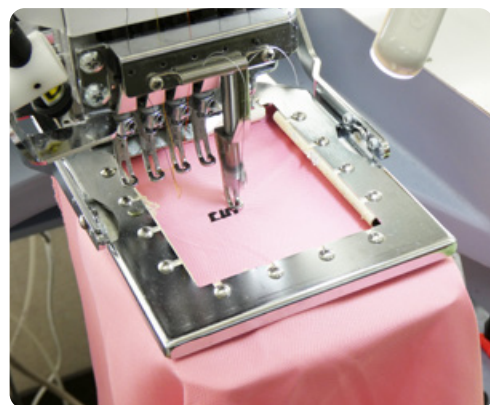
代表
上杉 忠久さん



導入したバルダン刺繍機

本事業への取り組みの経緯

アパレル業界の海外シフト等で国内の縫製工場が減少する中、量産物の刺繍も9割以上が海外にシフトしたため、当社では10年ほど前から本格的にユニフォーム市場に進出しました。海外で製造されたユニフォームなどへ企業ロゴやネームを入れる3次加工は海外での対応が難しいため、受注は堅調に推移しています。特に商社経由のネット注文を主体に、国立大学・私立大学等の医療関係から白衣刺繍(チームロゴ、ネーム)が増加していますが、注文から1週間程度で納品まで対応する必要があり、商社からは更なる加工時間の短縮と品質の安定化を求められる状況にありました。



エアーで対象物を押さえ刺繍する様子

実施した内容(取り組みの詳細)

既存設備には、現在の刺繍加工に必要な不可欠とされる機能が備わっていないほか、厚い生地やバックなどの皮製品へ満足いく刺繍が出来ない課題がありました。また、硬い生地などの場合、枠に嵌めて刺繍することが出来ないため、刺繍の難易度が上がるほか、生産ロスや刺繍が難しい商品もありました。

そこで最新機能を備えた刺繍機2台を導入しました。1台は主に量産型の製品の2次加工に使用する多頭式刺繍機で、もう1台はネーム刺繍やバック、雑貨など個人向け商品に対応可能な機種です。バルダン刺繍機はエアーで刺繍対象を押さえることが出来るため、位置を選ばず刺繍することが可能になりました。



導入したタジマ刺繍機(主に量産品に使用)

取り組みの成果・波及効果

導入機は布抑えをデジタル的にコントロールすることで生地のパタつきを抑え、刺繍を精密に美しく仕上げる事が出来るほか、スピードも格段にアップしたため生産効率は2割向上しました。

当社ではパンチング(刺繍ソフト)を進める前に、糸運びの方法を考え、生地の素材を考慮し、糸の太さを決定します。そのなかで縮み補正やフランクシオン(糸と糸の間隔)は、ソフトに組み込まれた自動設定ではなく、独自設定で作業を進めます。そうした細部へのこだわりで割く時間がこれまで以上に捻出出来るため、他社との差別化がより図られ、競争力強化につながりました。



既存の多頭式刺繍機(20年程度使用済み)



企業ロゴをパンチングで微調整する様子



袖にロゴ・ネームを刺繍したユニフォームの例

今後の展望・活動予定

今回初めて補助事業を活用させて頂きましたが、様々な数値を計算するうちに反省点が見つかったほか、今後に向けた事業戦略・アイデアが湧き出てくるといった利点もありました。

当社は2次加工、3次加工が主力ですが、海外で生産された物への加工で付加価値を付けることが可能ですので、受注面で戦略は立て易いです。企業がある限りユニフォーム刺繍は無くならないと考えられますので、今後もチャネルを増やしていきたいと思ひます。また、個人注文から学校関係や部活等の刺繍へ広がる場合も多く、間口を広げ様々な注文に対応したいと考えています。



工場内の作業の様子